

ユーザーには便利さをもたらし アパレル業界には勇気を伝える

株式会社メイキップ

採択テーマ ▶ AIによるアパレルECサイト向けサイズフィッティング

「unysize (ユニサイズ)」というECサイト上で洋服の推奨サイズが分かる便利なレコメンドシステムをはじめ、ファッションの世界の既成概念を打ち破る画期的なサービスを展開。インターネットにおける無限の可能性を信じながら、最新テクノロジーや分析を通して、もっとお買い物を楽しめる豊かな社会の実現に貢献しようとしている。



取締役：山本 晃央さん

キーワード ▶ FASHION × IT 「不可能」を「可能」に



ファッションの世界に積極的にITを導入し、今までの常識に捉われないサービスを展開している。

◆ ECサイト上で洋服の最適なサイズが分かるサービス

インターネットを通じて、今まで不可能だったことを可能にしたいという想いを込め、「Make it possible」を縮めた造語である「Makip」を社名にした。ビジネスの舞台として最初に挑んだのは、ファッションの領域である。ネットで洋服を購入する際、手に取って試着できないため、最適なサイズが分からないという大きな課題がある。そこで同社は独自のAIフィッティングアルゴリズムを活用した「unysize」というサービスを立ち上げた。簡単なアンケートに答えるだけで、ECサイトで試着なしに、フィットする洋服を選ぶことができる。



「unysize」は2016年2月からサービスを開始。より良いサイズを推奨するレコメンドシステムである。

◆ 開発の高いハードルを越えるための事業化支援

このサービスにさらに機能を実装して前進させたいと考えていたタイミングで、革新的サービスの事業化支援を受けた。取締役の山本晃央さんは「開発にはかなり高いハードルがありましたから、それを補完できる助成制度を探していました。おかげさまで写真から採寸できる『AI写真採寸』など、機能が圧倒的に充実し、ますます世の中のお客様の役に立てるようになりました」と語る。「unysize」はエンドユーザーに喜ばれるだけでなく、アパレルのEC化率が大幅に高まってきている中で、販売する側も支援し、業界全体にも喜ばれている。



洋服の撮影、採寸、原稿作成という「さげ業務」を自動化する「SASAGE.AI (ササゲエイ)」というソリューションも開発し、効率化によってアパレル業界全体に貢献している。

◆ 中小企業にとって2年間にわたる支援の意味合いは大きい

今回の事業化支援について山本さんは「単年ではなく2年間にわたって支援を受けられる仕組みは珍しいと思いますが、細かい変更もある中で、相談しながら柔軟に進めることができました。良い制度ですし、選考のハードルはありましたが、皆さんにぜひ活用してほしいですね」と語る。コロナ禍で苦境に立たされているアパレル業界だが、山本さんは「いくらECサイトが成長を続けても、リアル店舗とは役割が違いますから、リアルの重要性は変わりません」と語る。そこには、オンラインとリアルの双方を勇気づけたいという想いが感じられた。



業界を牽引するサイズレコメンドシステムを開発し、大きな認知度とシェアを得ている会社です。画像認識AIという先端技術を活用し、利用ID数、導入ECサイトも増え続けています。この開発が成長エンジンとなり、さらなる拡大が期待されます。

会社概要

所在地 ● 東京都新宿区矢来町89 2F TEL ● 03-6265-3465 URL ● <https://makip.co.jp>
代表取締役 ● 柄本 真吾 設立 ● 2015年2月 資本金 ● 4,000万円